



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月4日

上場会社名 株式会社 紀陽ホールディングス

(URL <http://www.kyfg.com/>)

(コード番号：8415 東証・大証第一部)

代表者 役職・氏名 取締役社長 片山 博臣

問合せ先責任者 役職・氏名 グループ企画部長 米坂 享

TEL(073)426-7133

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 内容は、「四半期財務情報作成のための基本となる事項」(資料4頁)に記載しています。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	19,517	(-)	3,972	(-)	3,581	(-)
(参考)18年3月期	75,529		996		3,297	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	5	97	5	30
(参考)18年3月期	6	78	5	70

(注)当社は、平成18年2月1日に設立しているため、前年同期実績及び対前年同期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）の経営成績は、有価証券運用による収益や、投資信託等の販売による手数料収入が順調であったことなどにより、経常収益は195億円、経常利益は39億円、四半期純利益は35億円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	3,279,245	104,885	3.2	128 96
(参考)18年3月期	3,245,141	110,756	3.4	139 07

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除した比率であり、「銀行法第52条の25の規定に基づき連結自己資本比率の基準を定める件」(平成10年大蔵省告示第62号)に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

[財政状態（連結）の変動に関する定性情報等]

当四半期末における財政状態（連結）については、総資産が3兆2,792億円、純資産が1,048億円となりました。
 貸出金は前連結会計年度末比381億円減少し、2兆32億円となりました。公共貸出の減少に加え、子銀行間における合併を本年10月に控えていることによる影響などから貸出金残高が減少しています。
 預金は、個人預金を中心に前連結会計年度末比286億円増加し、2兆9,731億円となりました。
 また、有価証券残高は、前連結会計年度末比1,158億円増加し、9,196億円となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

平成19年3月期の連結業績予想につきましては、平成18年5月26日に公表しました連結業績予想からの変更はございません。

比較四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末) (A)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	55,883			139,446	83,563
コールローン及び買入手形	175,130			107,411	67,719
買現先勘定	-			19,999	19,999
債券貸借取引支払保証金	-			10,006	10,006
買入金銭債権	9,753			10,233	480
商品有価証券	1,452			1,326	126
金銭の信託	3,500			3,500	-
有価証券	919,679			803,850	115,829
貸出為替	2,003,236			2,041,367	38,131
外国為替	2,137			3,269	1,132
その他資産	24,514			27,120	2,606
不動産	-			39,664	-
有形固定資産	42,296			-	-
無形固定資産	18,955			-	-
繰延税金資産	32,531			33,340	809
連結調整勘定	-			16,518	-
支払承諾見返金	43,028			42,867	161
貸倒引当金	52,855			54,780	1,925
資産の部合計	3,279,245			3,245,141	34,104
(負債の部)					
預渡性預金	2,973,148			2,944,488	28,660
譲渡性預金	19,550			3,000	16,550
コールマネー及び売渡手形	1,174			117	1,057
債券貸借取引受入担保金	66,210			74,229	8,019
借入金	27,428			27,525	97
外国為替	22			38	16
社債	13,000			13,000	-
その他負債	25,829			22,258	3,571
退職給付引当金	4,870			5,255	385
繰延税金負債	96			191	95
支払承諾	43,028			42,867	161
負債の部合計	3,174,360			3,132,972	41,388
(少数株主持分)					
少数株主持分	-			1,412	-
(資本の部)					
資本金	-			42,600	-
資本剰余金	-			61,384	-
利益剰余金	-			16,218	-
その他有価証券評価差額金	-			3,078	-
自己株式	-			12,526	-
資本の部合計	-			110,756	-
負債、少数株主持分及び資本の部合計	-			3,245,141	-
(純資産の部)					
資本金	42,600			-	-
資本剰余金	61,384			-	-
利益剰余金	19,799			-	-
自己株式	12,540			-	-
(株主資本合計)	111,243			-	-
その他有価証券評価差額金	7,654			-	-
繰延ヘッジ損益	77			-	-
(評価・換算差額等合計)	7,732			-	-
少数株主持分	1,374			-	-
純資産の部合計	104,885			-	-
負債、及び純資産の部合計	3,279,245			-	-

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

比較四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (A)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期 (C)
経常収益	19,517			75,529
資金運用収益	14,383			50,216
（うち貸出金利息）	(10,964)			(38,508)
（うち有価証券利息配当金）	(3,305)			(11,361)
役務取引等収益	3,237			10,939
その他業務収益	1,215			5,408
その他経常収益	681			8,965
経常費用	15,545			74,533
資金調達費用	1,322			4,192
（うち預金利息）	(419)			(1,200)
役務取引等費用	999			3,272
その他業務費用	1,192			4,684
営業経費	10,225			34,870
その他経常費用	1,804			27,514
経常利益	3,972			996
特別利益	1,307			10,675
特別損失	117			613
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,162			11,058
法人税、住民税及び事業税	769			274
法人税等調整額	785			7,420
少数株主利益	26			66
四半期(当期)純利益	3,581			3,297

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【四半期財務情報作成のための基本となる事項】

当社は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

なお、四半期財務・業績の概況に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

[簡便な手続の内容]

貸倒引当金の算定基準

貸倒引当金については、平成18年3月期に適用した貸倒実績率等に基づき計上しております。

【セグメント情報】

1. 事業の種類別セグメント情報

当四半期

連結会社は銀行業務を中心に、リース業務・事務代行業務などの金融サービスに係る事業を行っておりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 所在地別セグメント情報

当四半期

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び海外支店が存在しないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

3. 国際業務経常収益

当四半期

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

< ご参考資料 >

株式会社紀陽ホールディングス

平成19年3月期第1四半期の財務・業績について

1. 平成19年3月期第1四半期の業績概要

連結（紀陽ホールディングス）

（単位：百万円）

	平成19年3月期 第1四半期	平成19年3月期 中間期予想値	平成19年3月期 通期予想値	平成18年3月期 通期実績 (参考)
連結粗利益	15,320			54,414
資金利益	13,060			46,024
役務取引等利益	2,237			7,666
その他業務利益	22			724
営業経費()	10,225			34,870
一般貸倒引当金繰入額()	479			1,196
不良債権処理額()	1,870			27,933
株式関係損益	244			7,579
経常利益	3,972	4,100	7,300	996
特別損益	1,190			10,062
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,162			11,058
法人税、住民税及び事業税()	769			274
法人税等調整額()	785			7,420
四半期(当期)純利益	3,581	3,000	4,500	3,297
与信費用合計()	83			25,154

- (注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
 2. 与信費用合計 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益
 3. ()は損失項目です。
 4. 上記予想値は、平成18年5月26日に公表した予想値です。

平成19年3月期第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)における紀陽ホールディングス連結の経営成績は、連結粗利益153億円、経常利益39億円、四半期純利益35億円となり、順調な推移となりました。

なお、当社グループでは、本年10月に子銀行2行(紀陽銀行、和歌山銀行)の合併を予定しております。この合併に関連する費用の計上が見込まれますことから、公表しております業績予想につきましては変更はございません。

< ご参考資料 >

株式会社紀陽ホールディングス

両行合算（紀陽銀行単体 + 和歌山銀行単体）

（単位：百万円）

	平成19年3月期 第1四半期 (a)	平成18年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)
業 務 粗 利 益	14,505	14,372	133
資 金 利 益	12,913	12,925	12
役 務 取 引 等 利 益	1,681	1,409	272
そ の 他 業 務 利 益	89	37	126
経費（除く臨時処理分）（ ）	9,584	10,419	835
一般貸倒引当金繰入額（ ）	24	12	12
業 務 純 益	4,943	3,966	977
う ち コ ア 業 務 純 益	4,793	3,831	962
臨 時 損 益	1,006	640	366
不 良 債 権 処 理 額 （ ）	1,447	755	692
株 式 関 係 損 益	244	40	284
そ の 他	686	75	611
経 常 利 益	3,936	3,325	611
特 別 損 益	1,166	172	1,338
税 引 前 四 半 期 純 利 益	5,104	3,153	1,951
法人税、住民税及び事業税（ ）	526	61	587
法人税等調整額（ ）	948	743	205
四 半 期 純 利 益	3,628	2,470	1,158
与 信 費 用 合 計 （ ）	9	415	424

（注）1．和歌山銀行分（平成19年3月期第1四半期）では、一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の取崩額が繰入額を上回るため、当該上回る額を特別利益としておりますが、両行合算では、一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の取崩額が繰入額を上回らないため、上表では、それぞれ一般貸倒引当金繰入額、不良債権処理額の欄に記載しております。

2．コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。

3．与信費用合計 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益

4．（ ）は損失項目です。

< ご参考資料 >

株式会社紀陽ホールディングス

単体（紀陽銀行）

（単位：百万円）

	平成19年3月期 第1四半期 (a)	平成18年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)
業 務 粗 利 益	12,423	12,209	214
資 金 利 益	10,951	10,722	229
役 務 取 引 等 利 益	1,504	1,392	112
そ の 他 業 務 利 益	32	94	126
経費（除く臨時処理分）（ ）	8,186	8,997	811
一般貸倒引当金繰入額（ ）	380	77	457
業 務 純 益	3,856	3,290	566
う ち コ ア 業 務 純 益	4,117	3,096	1,021
臨 時 損 益	766	301	465
不 良 債 権 処 理 額 （ ）	1,294	462	832
株 式 関 係 損 益	244	40	284
そ の 他	772	121	651
経 常 利 益	3,089	2,989	100
特 別 損 益	920	20	940
税 引 前 四 半 期 純 利 益	4,010	2,969	1,041
法人税、住民税及び事業税（ ）	522	67	589
法人税等調整額（ ）	948	773	175
四 半 期 純 利 益	2,539	2,263	276

与 信 費 用 合 計 （ ）	636	76	560
-----------------	-----	----	-----

- （注）1．コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。
 2．与信費用合計 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益
 3．（ ）は損失項目です。

平成19年3月期第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）における紀陽銀行の経営成績は、コア業務純益が41億円（前年同期比10億円増加）、業務純益が38億円（同5億円増加）、経常利益が30億円（同1億円増加）、四半期純利益が25億円（同2億円増加）と順調に推移しました。

なお、平成18年5月26日に公表いたしました中間期の予想は、経常利益49億円、中間純利益45億円であり、いずれも50%以上の進捗となっております。

これらは、有価証券運用による収入が増加しましたことなどにより資金利益が増加し、また投資信託の販売などを引き続き積極的に展開しておりますことから役務取引等利益も増加し、かつ経費が減少していることなどによるものです。

< ご参考資料 >

株式会社紀陽ホールディングス

単体（和歌山銀行）

（単位：百万円）

	平成19年3月期 第1四半期 (a)	平成18年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)
業 務 粗 利 益	2,082	2,163	81
資 金 利 益	1,962	2,203	241
役 務 取 引 等 利 益	177	17	160
そ の 他 業 務 利 益	57	57	0
経費（除く臨時処理分）（ ）	1,398	1,422	24
一般貸倒引当金繰入額（ ）	-	65	65
業 務 純 益	683	676	7
<u>う ち コ ア 業 務 純 益</u>	676	735	59
臨 時 損 益	206	339	133
不良債権処理額（ ）	119	293	174
株 式 関 係 損 益	-	0	0
そ の 他	86	46	40
経 常 利 益	477	336	141
特 別 損 益	616	152	768
税 引 前 四 半 期 純 利 益	1,094	184	910
法人税、住民税及び事業税（ ）	4	6	2
法人税等調整額（ ）	-	30	30
四 半 期 純 利 益	1,089	207	882
与 信 費 用 合 計 （ ）	645	339	984

- （注）1．平成19年3月期第1四半期において、一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の取崩額が繰入額を上回るため、当該上回る額を「その他の特別利益」として「特別損益」に記載しております。
- 2．コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。
- 3．与信費用合計 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益（上記、注1の額を含む）
- 4．（ ）は損失項目です。

平成19年3月期第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）における和歌山銀行の経営成績は、コア業務純益が6億円、業務純益が6億円となり、前年同期とほぼ横這いとなりました。また経常利益が4億円（前年同期比1億円増加）、四半期純利益が10億円（同8億円増加）と順調に推移しました。

紀陽銀行との合併の影響などにより、貸出金残高が減少しておりますことから、資金利益が減少しておりますが、投資信託等の預かり資産の増強に努めました結果、役務取引等利益が前年同期比で増加いたしました。

また、与信費用が9億円減少しましたことから、経常利益や四半期純利益が前年同期比で増加いたしました。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽ホールディングス

2. 「金融再生法ベースの категорияによる開示」【単体】

(両行合算：紀陽銀行単体 + 和歌山銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	395	396
危険債権	881	921
要管理債権	235	231
小計	1,511	1,549
(合計債権残高に占める比率)	(7.34%)	(7.39%)
正常債権	19,084	19,425
合計	20,595	20,974

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	301	292
危険債権	743	770
要管理債権	192	184
小計	1,237	1,247
(合計債権残高に占める比率)	(6.83%)	(6.82%)
正常債権	16,872	17,038
合計	18,110	18,286

(和歌山銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	93	103
危険債権	138	151
要管理債権	42	47
小計	274	301
(合計債権残高に占める比率)	(11.04%)	(11.23%)
正常債権	2,211	2,386
合計	2,485	2,688

3. 自己資本比率(第二基準、国内基準)【連結】【単体】

(紀陽ホールディングス)

	平成18年9月末(予想値)	平成18年3月末(実績)
(連結ベース)自己資本比率	9.1 %程度	9.52 %
Tier 1比率	6.0 %程度	6.30 %

(紀陽銀行)

	平成18年9月末(予想値)	平成18年3月末(実績)
(単体ベース)自己資本比率	8.1 %程度	8.59 %
Tier 1比率	6.0 %程度	6.28 %
(連結ベース)自己資本比率	8.1 %程度	8.60 %
Tier 1比率	6.0 %程度	6.34 %

(和歌山銀行)

	平成18年9月末(予想値)	平成18年3月末(実績)
(単体ベース)自己資本比率	8.6 %程度	8.90 %
Tier 1比率	5.2 %程度	5.52 %
(連結ベース)自己資本比率	8.7 %程度	9.01 %
Tier 1比率	5.3 %程度	5.64 %

(注)上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

< ご参考資料 >

4. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(両行合算：紀陽銀行単体 + 和歌山銀行単体)

その他有価証券の評価差額

(単位：億円)

	平成18年6月末				平成18年3月末			
	時価	評価差額	評価差額		時価	評価差額	評価差額	
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	8,059	80	126	206	7,110	28	175	147
株式	654	100	119	19	628	166	168	2
債券	5,605	131	1	132	5,155	113	1	114
その他	1,798	49	5	55	1,325	25	5	30

(注) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：億円)

平成18年6月末				平成18年3月末			
帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
	うち益	うち損			うち益	うち損	
968	25	0	26	763	20	1	21

子会社・関連会社株式で時価のあるもの

該当ありません。

(紀陽銀行単体)

その他有価証券の評価差額

(単位：億円)

	平成18年6月末				平成18年3月末			
	時価	評価差額	評価差額		時価	評価差額	評価差額	
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	7,676	73	125	199	6,929	34	175	140
株式	653	100	119	18	627	166	168	2
債券	5,237	125	0	125	4,988	107	0	108
その他	1,785	49	5	54	1,313	24	5	30

(注) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：億円)

平成18年6月末				平成18年3月末			
帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
	うち益	うち損			うち益	うち損	
751	11	0	11	526	9	0	10

子会社・関連会社株式で時価のあるもの

該当ありません。

(和歌山銀行単体)

その他有価証券の評価差額

(単位：億円)

	平成18年6月末				平成18年3月末			
	時価	評価差額	評価差額		時価	評価差額	評価差額	
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	382	6	0	7	180	6	0	6
株式	0	0	-	0	1	0	0	-
債券	367	6	0	6	167	6	0	6
その他	13	0	-	0	11	0	0	0

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：億円)

平成18年6月末				平成18年3月末			
帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
	うち益	うち損			うち益	うち損	
216	14	0	14	236	10	0	10

子会社・関連会社株式で時価のあるもの

該当ありません。

< ご参考資料 >

5. デリバティブ取引【単体】

(両行合算：紀陽銀行単体 + 和歌山銀行単体)

(1) 金利関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	金利スワップ	0	0	0	0	0	0
	その他	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	450	0	0	454	0	0
	為替予約	542	5	5	298	2	2
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	200	0	0	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

(紀陽銀行単体)

(1) 金利関連取引

該当ありません。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	450	0	0	454	0	0
	為替予約	535	5	5	287	2	2
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	200	0	0	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

(和歌山銀行単体)

(1) 金利関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	金利スワップ	0	0	0	0	0	0
	その他	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	-	-	-	-	-	-
	為替予約	7	0	0	11	0	0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

該当ありません。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽ホールディングス

6. 預金、貸出金の残高【単体】

(両行合算：紀陽銀行単体 + 和歌山銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末	平成17年6月末
預金(未残)	29,885	29,550	30,348
うち個人預金	22,881	22,707	22,841
貸出金(未残)	20,116	20,494	20,379
うち消費者ローン	6,679	6,681	6,567
うち住宅ローン	5,615	5,626	5,462

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末	平成17年6月末
預金(未残)	26,361	25,828	26,271
うち個人預金	19,834	19,511	19,388
貸出金(未残)	17,648	17,831	17,307
うち消費者ローン	5,910	5,903	5,745
うち住宅ローン	4,971	4,968	4,774

(和歌山銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末	平成17年6月末
預金(未残)	3,523	3,721	4,077
うち個人預金	3,046	3,195	3,453
貸出金(未残)	2,468	2,663	3,071
うち消費者ローン	768	778	822
うち住宅ローン	644	658	688

7. 投資信託・公共債の預かり資産残高【単体】

(両行合算：紀陽銀行単体 + 和歌山銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末	平成17年6月末
投資信託残高	1,358	1,322	1,043
公共債残高	773	751	707
投資信託・公共債合計残高	2,132	2,074	1,751

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末	平成17年6月末
投資信託残高	1,229	1,220	995
公共債残高	748	724	681
投資信託・公共債合計残高	1,978	1,945	1,677

(和歌山銀行単体)

(単位：億円)

	平成18年6月末	平成18年3月末	平成17年6月末
投資信託残高	129	101	47
公共債残高	25	27	25
投資信託・公共債合計残高	154	128	73

以上